

健 第 1378 号  
平成29年 1月26日

(公社) 岡山県医師会長 殿  
(一社) 岡山県病院協会長 殿

岡山県保健福祉部健康推進課長

「インフルエンザ警報」の発令について

平成28年12月1日に「インフルエンザ注意報」を発令し、県民への注意喚起を図っているところですが、県全体で定点当たり30人を超過し、流行時期等から今後も患者増加の可能性があることから、本日、「インフルエンザ警報」を発令し、次のとおり広く県民に注意喚起を図ることにしましたのでご了知の上、貴会員への周知についてよろしく願います。

また、本通知は、次のホームページに掲載しておりますことを申し添えます。

記

岡山県保健福祉部からの医療安全情報等のお知らせ  
<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>

平成29年1月26日

課名	健康推進課
担当	久永、森、坂本
内線	2709、2743、2791
直通	226-7331

## 「インフルエンザ警報」を発令しました

平成28年12月1日に「インフルエンザ注意報」を発令し、県民への注意喚起を図っているところですが、県全体で定点当たり30人を超過し、過去の流行時期等を勘案すると今後も患者増加の可能性があることから、本日、「インフルエンザ警報」を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしましたのでお知らせします。

### 1 インフルエンザ流行期の注意事項

#### 【インフルエンザの予防】

- ・ 家に帰ったら、手洗いをしましょう。
- ・ 人混みに入る場合にはマスクを着用しましょう。
- ・ 特に高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- ・ 十分な睡眠、バランスの良い食事などに気を付けて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 室内では加湿器を使うなど適度な湿度を保ちましょう。

#### 【かかったかな？という時は】

- ・ 早めに医療機関を受診し、確実に治療しましょう。
- ・ できるだけ昼間に受診し、必ずマスクを着用して受診しましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように「咳エチケット」を心がけましょう。
- ・ 水分を十分とり、安静にして休養をとりましょう。
- ・ 家庭に残っている解熱剤は勝手に使用しないで、医師に相談してください。
- ・ 乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。次のような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう
  - 水分をとった後すぐに吐いてしまい元気がない。
  - 意識がはっきりせず、うとうとしている。
  - けいれんを起こす。
- ・ 予防接種を受けた人でもかかることがありますので、油断せずに注意をしましょう。（ただし、予防接種を受けた場合は、受けなかった場合と比べて、かかっても軽症であるとされています。）

※咳エチケット：咳・くしゃみが出たら、他人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れましょう。咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

### 2 注意喚起の方法

- (1) マスメディアへの情報提供
- (2) 保健所、関係機関等を通じた注意喚起
  - ①学校、保育所、高齢者の入所施設等への注意喚起の徹底
  - ②市町村への広報の依頼
- (3) ホームページ\* 等による広報の実施

※・健康推進課 (<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/36/>)

・感染症情報センター (<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>)

## (参考資料)

### 岡山県のインフルエンザ注意報等の概要

	インフルエンザ	
	注意報	警報
目的	県民の注意を喚起することで、予防及びまん延防止を図る。 (広く県民に周知をはかることで当該感染症の予防及びまん延防止を図る)	
基準	流行シーズン入り(患者の発生が定点医療機関当たり1人を超過)  (H25まで) 流行初期(患者の発生が定点医療機関当たり5人を超過)	重症例の多発や著しい流行など特に緊急に注意喚起が必要なとき ・県全体で定点当たり30人を超過し、流行時期等から今後も患者増加の可能性がある場合 ・新型ウイルスが検出されるなど、まん延の拡大のおそれがある場合
発令区域	県下全域が基本	
専門家の意見聴取	感染症対策委員会 結核・感染症発生動向調査部会に意見を聴取した上で発令する。 感染症対策委員会 結核・感染症発生動向調査部会には、当該感染症の発生時期、発生場所、病原体の種類等を勧告した上で、発令の必要性や発令区域等についての意見をいただく。 なお、急を要する場合には、部会長の意見をもつてかえることができる。	
発令内容	流行のピークに向けて、手洗いの励行などを呼びかける。	注意報よりさらに強く予防及び早期受診を呼びかける。

#### 過去の発令状況

	流行シーズン入り
平成18年度：19年 3月 2日「インフルエンザ注意報」発令 19年 3月26日「インフルエンザ警報」発令	19年第 4週
平成19年度：19年12月 6日「インフルエンザ注意報」発令	19年第46週
平成20年度：20年12月25日「インフルエンザ注意報」発令 21年 1月22日「インフルエンザ警報」発令	20年第49週
平成21年度：21年 9月 3日「インフルエンザ注意報」発令 21年11月 5日「インフルエンザ警報」発令	21年第35週
平成22年度：23年 1月20日「インフルエンザ注意報」発令	22年第52週
平成23年度：23年12月22日「インフルエンザ注意報」発令 24年 1月26日「インフルエンザ警報」発令	23年第48週
平成24年度：25年 1月17日「インフルエンザ注意報」発令 25年 2月 7日「インフルエンザ警報」発令	24年第52週
平成25年度：26年 1月16日「インフルエンザ注意報」発令	25年第52週
平成26年度：26年12月11日「インフルエンザ注意報 (流行シーズン入り)」発令 27年 1月15日「インフルエンザ警報」発令	26年第49週
平成27年度：28年 1月14日「インフルエンザ注意報 (流行シーズン入り)」発令 28年 2月18日「インフルエンザ警報」発令	28年第 1週
平成28年度：28年12月 1日「インフルエンザ注意報 (流行シーズン入り)」発令 29年 1月26日「インフルエンザ警報」発令	28年第47週

#### 今冬のインフルエンザウイルス検出状況 (H29/1/24 現在)

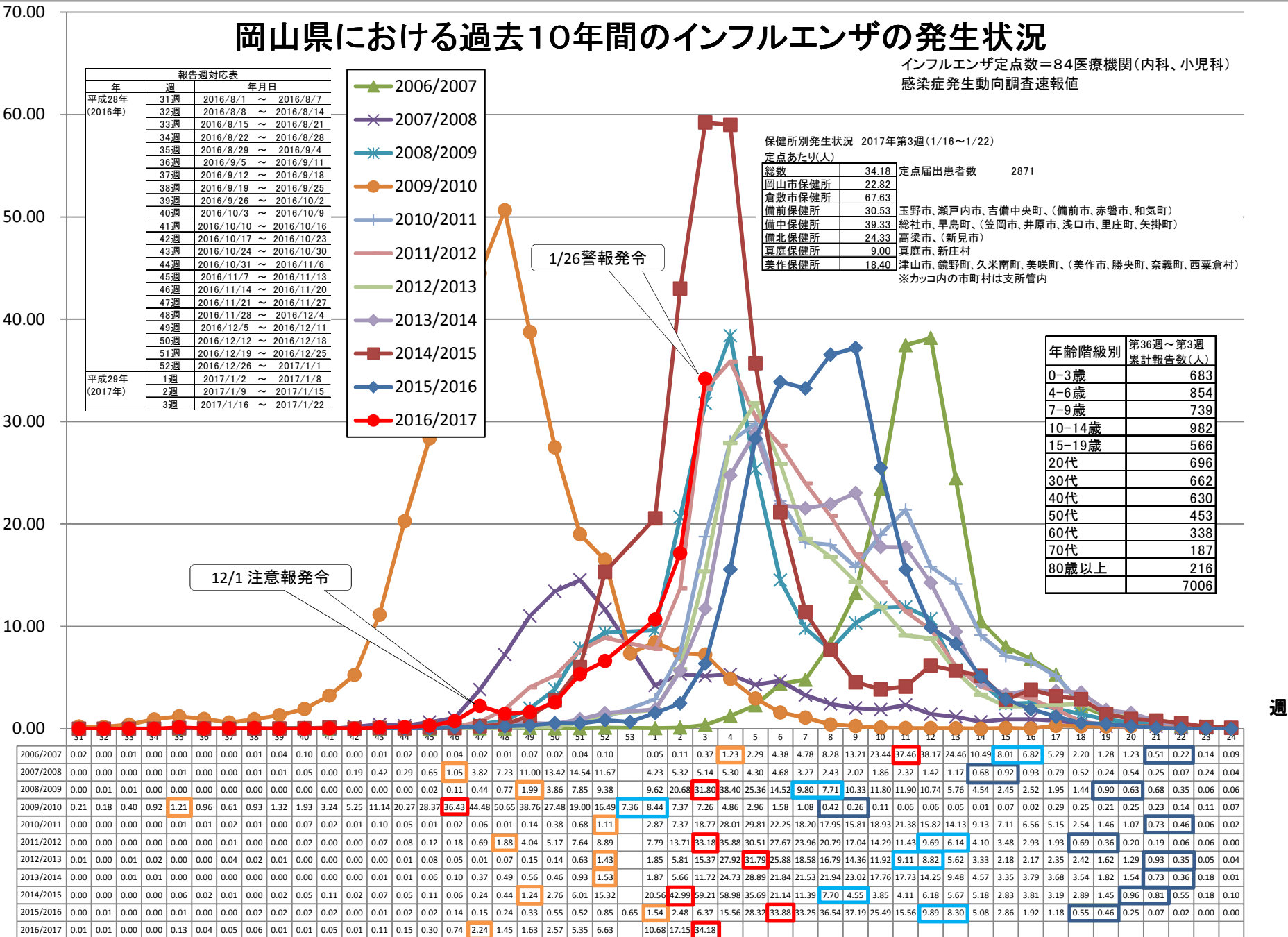
AH3 (香港型) 36件

※ 岡山県環境保健センターで検査実施したもの

# 岡山県における過去10年間のインフルエンザの発生状況

インフルエンザ定点数=84医療機関(内科、小児科)  
感染症発生動向調査速報値

定点当たり患者数



報告週対応表			
年	週	年月日	
平成28年 (2016年)	31週	2016/8/1	~ 2016/8/7
	32週	2016/8/8	~ 2016/8/14
	33週	2016/8/15	~ 2016/8/21
	34週	2016/8/22	~ 2016/8/28
	35週	2016/8/29	~ 2016/9/4
	36週	2016/9/5	~ 2016/9/11
	37週	2016/9/12	~ 2016/9/18
	38週	2016/9/19	~ 2016/9/25
	39週	2016/9/26	~ 2016/10/2
	40週	2016/10/3	~ 2016/10/9
	41週	2016/10/10	~ 2016/10/16
	42週	2016/10/17	~ 2016/10/23
	43週	2016/10/24	~ 2016/10/30
	44週	2016/10/31	~ 2016/11/6
45週	2016/11/7	~ 2016/11/13	
46週	2016/11/14	~ 2016/11/20	
47週	2016/11/21	~ 2016/11/27	
48週	2016/11/28	~ 2016/12/4	
49週	2016/12/5	~ 2016/12/11	
50週	2016/12/12	~ 2016/12/18	
51週	2016/12/19	~ 2016/12/25	
52週	2016/12/26	~ 2017/1/1	
平成29年 (2017年)	1週	2017/1/2	~ 2017/1/8
	2週	2017/1/9	~ 2017/1/15
	3週	2017/1/16	~ 2017/1/22

- ▲ 2006/2007
- × 2007/2008
- ✱ 2008/2009
- 2009/2010
- ◆ 2010/2011
- 2011/2012
- ◇ 2012/2013
- ▽ 2013/2014
- 2014/2015
- ◇ 2015/2016
- 2016/2017

保健所別発生状況 2017年第3週(1/16~1/22)

定点あたり(人)

総数	34.18	定点届出患者数	2871
岡山市保健所	22.82		
倉敷市保健所	67.63		
備前保健所	30.53	玉野市、瀬戸内市、吉備中央町、(備前市、赤磐市、和気町)	
備中保健所	39.33	総社市、早鳥町、(笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町)	
備北保健所	24.33	高梁市、(新見市)	
真庭保健所	9.00	真庭市、新庄村	
美作保健所	18.40	津山市、鏡野町、久米南町、美咲町、(美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村)	

※カッコ内の市町村は支所管内

年齢階級別	第36週~第3週 累計報告数(人)
0-3歳	683
4-6歳	854
7-9歳	739
10-14歳	982
15-19歳	566
20代	696
30代	662
40代	630
50代	453
60代	338
70代	187
80歳以上	216
	7006

週

## インフルエンザ警報が発令されています。

県下の定点医療機関当たり患者数が30人を超え、インフルエンザが流行しています。注意喚起のためインフルエンザ警報が発令されています。

### 県民の皆様へのインフルエンザ 感染予防に関する呼びかけ



#### ○インフルエンザの予防

- 家に帰ったら、手洗いをしましょう。
- 人混みに入る場合にはマスクを着用しましょう。
- 特に高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- 十分な睡眠、バランスの良い食事などに気を付けて、抵抗力をつけましょう。
- 室内では加湿器を使うなど適度な湿度を保ちましょう。

#### ○かかったかな？という時は

- 早めに医療機関を受診し確実に治療しましょう。
- できるだけ昼間に受診し、必ずマスクを着用して受診しましょう。
- 周りの人にうつさないように「咳エチケット」を心がけましょう。
- 水分を十分とり、安静にして休養をとりましょう。
- 家庭に残っている解熱剤は勝手に使用しないで、医師に相談し

てください。

- 乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。次のような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう
  - 水分をとった後すぐに吐いてしまい元気がない。
  - 意識がはっきりせず、うとうとしている。
  - けいれんを起こす。
- 予防接種を受けた人でもかかることがありますので、油断せずに注意をしましょう。（ただし、予防接種を受けた場合は、受けなかった場合と比べて、かかっても軽症であるとされています。）

下記のホームページにインフルエンザ情報を掲載しています

感染症情報センター

(<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>)

### 咳エチケット

- 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。  
マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1 m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- ※マスクを着用しているからといって、ウイルスの吸入を完全に予防できるわけではありません。
- ※マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。